

社協だより

第99号

平成28年10月1日発行

社会福祉
法人七ヶ浜町社会福祉協議会
(ボランティアセンター)

〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153
 TEL(022)349-7781 FAX(022)349-7782
<http://svc.miyagi.jp/dvc/index.php?gid=10209>
 E-mail:sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp



松ヶ浜地区



代ヶ崎浜地区

地区サロンはじまりました!



菖蒲田浜地区



花瀬浜地区

もくじ

- 地区サロンはじまりました
- 社会福祉法人制度改革について
- 地区サロン「お茶っこ会」
- 向洋中Fプロジェクト始動!!
- 防災チャレンジ報告
- 向洋中防災学習の紹介
- ふっとわ〜くよりお知らせ
- 生活福祉資金・教育支援資金のご案内

- 赤い羽根共同募金
- 子育てサポーター養成講座
- おもちゃドクター養成講座
- あさひ園まつり
- まもり一ぶ生活支援員を募集します!!

※ 虹色の漣は、誌面の都合上お休みいたします。

町営住宅が建設され、地区避難所も開設されました。地域住民が気軽に集まって、元気な顔を見せあえる“場”づくりの重要性が高まっています。

お誘い合わせの上、是非とも寄ってみてください。日程等は3ページに掲載しております。

社会福祉法人制度改革について

平成 26 年 7 月に出された「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」の報告によると、平成 12 年の社会福祉基礎構造改革以降、大きな見直しは行われてこなかったが、介護保険制度が創設され、社会情勢・地域社会の変化などにより、社会福祉法人を取り巻く状況が大きく変化した。その意義・役割を問い直す厳しい指摘もされるに至り、社会福祉法人のもつ潜在力を、今一度地域福祉や社会福祉の向上のために最大限活用するための制度改革となった。七ヶ浜町社会福祉協議会も社会福祉法人格を有していますが、地域福祉の充実を主な目標として活動しておりますので、今回の制度改革によってそれほど大きな改革を強いられることはありませんが、この社協だよりやホームページなどを活用した情報開示に関することや、理事や

★これまでの社会福祉法人を取り巻く状況の変化について、ご紹介いたします。

監事、評議員の皆様方の、法人への関わり方を再度明確にすることが求められてきます。

▶ (制度創設期)

昭和 20 年代、終戦による海外からの引揚者、身体障害者、戦災孤児、失業者などの生活困難者の激増という困難に直面。対応を急がれる中、公益性を担保する方策として行政がサービスの対象者と内容を決定する「措置制度」が設けられた。その措置を受託する法人として社会福祉法人格が創設・活用された。

▶ (高度経済成長期)

高度経済成長を背景に社会福祉制度が充実。豊かさの実現を背景として、福祉サービスの供給も拡大し、新たに設けられた制度に基づく福祉サービスを実施するため、行政が措置の委託先である施設整備（受け皿）を優先したため、社会福祉法人の数も同様に増加していった。

▶ (介護保険制度の創設) 措置から契約へ

平成 9 年の介護保険法の成立によって「介護」は、保健医療サービスと福祉サービスが総合的に受けられるサービスとして再構築され、従来の措置制度による制限的なサービスから保険制度による普遍的なサービスへと大きな転換を迎えた。

多様な経営主体によりサービスが提供され種類や内容の多様化も進んだ。

▶ (少子高齢化の進展と社会保障制度の拡充)

昭和 50 年代から昭和 60 年代になると、高齢化や核家族化、女性の社会進出等を背景に、福祉ニーズが急速に増大し、「高齢者保健福祉推進十カ年戦略（ゴールドプラン）」「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について（エンゼルプラン）」「障害者プラン～ノーマライゼーション七カ年戦略～」などによる福祉サービスの基盤整備。

● (社会情勢・地域社会の変化)

○昭和 50 年代以降の急速な少子化・高齢化に加え、平成 17 年前後からは人口減少が進んでいる。平成 20 年代は団塊の世代が高齢化を迎え、65 歳以上の高齢者数は、平成 37 年には 3,657 万人となり、平成 54 年にピークを迎えると予測されている。また、75 歳以上の高齢者の全人口に占める割合は増加し、平成 67 年には 25%を超える見込みとなっている。

○65 歳以上の高齢者においては、認知症の高齢者が

増加していく傾向にあり、また、世帯主が 65 歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。

- 若年層を中心に、失業者や非正規雇用労働者、就職困難者が増加しており、現役世代に対する社会保険や企業の福利厚生などによる支えが得られ難い傾向にある。
- 公的福祉サービスは、分野ごとに飛躍的に充実してきたが、昨今の社会情勢の中では、制度によるサービスだけでは対応できない課題（単身高齢者に対する見守りや、ひきこもりの方に対する支援など「制度の狭間の問題」）が顕在化している。

かつては家族や地域共同体による助け合いによって対処されてきた面が多いのですが、都市化、過疎化、若年層を中心にした都市部への人口流出や家族のつながりの希薄化が進んでしまい、その機能が弱くなっています。今一度、地域の助け合い機能を取り戻し、住みよい地域社会づくりのために、地域住民一人ひとりの参画が期待されています。

七ヶ浜町社会福祉協議会は、住民の代表である、理事・監事・評議員などの役員と現場の職員が一丸となって、地域住民が手と手を取りあって支え合う地域づくりを進めていきます。今回の社会福祉法人改革を機に、より一層透明性の高い事業推進のための情報開示や、理事を中心とした事業の推進、監事と評議員による事業推進状況の確認と、予算執行状況の確認を行っていただきながら、進めていきます。



地区サロン「お茶っこ会」

主催 セブ浜町社会福祉協議会
協力 セブ浜町ボランティア友の会
 NPO 法人レスキュー・ストックヤード



今後の開催予定日

菖蒲田浜地区	9月7日、10月5日、11月2日、 12月7日、2月1日、3月1日	第1水曜日 午前10時～11時50分 (菖蒲田浜集会室)
花洲浜地区	9月14日、10月12日、11月9日、 12月14日、1月11日、2月8日、 3月8日	第2水曜日 午前10時～11時50分 (花洲浜地区避難所)
代ヶ崎浜地区	9月21日、10月19日、11月16日、 12月21日、1月18日、2月15日、 3月15日	第3水曜日 午前10時～11時50分 (代ヶ崎浜地区避難所)
松ヶ浜地区	9月28日、10月26日、1月25日、 2月22日、3月22日	第4水曜日 午後13時～14時50分 (松ヶ浜地区避難所)

目的 新しく暮らす地域・住み慣れた地域の中で、笑顔で安心して暮らすために、地域住民の方々の交流の場をつくること。

対象 どなたでも、お誘い合わせのうえ、お越しください。
 ・参加費は必要なし！
 ・開催時間内は出入り自由！

「お茶飲みに来て下さい!!」



この日 7 月 31 日は向洋中 F プロジェクトが本格的な活動の第一弾として、菖蒲田浜町営住宅の集会室でサロンを開催。F プロジェクトと生徒会が共催し、生徒と入居者約 50 名が参加。生徒側はソーラン踊りと松小太鼓を披露した他、集会室では生徒の手作りデザートも振る舞われました。最後の「花は咲く」の大合唱は感動的でした。



生徒と入居者の交流会



みんなで「花は咲く」の大合唱



生徒の手作りデザート

平成 27 年度の防災学習で町内で聞き取り調査を行った向洋中学校。東日本大震災について教えていただいたことがきっかけとなり、誰かに促されて動くのではなく「自分から何かをしたい」とのことから F プロジェクトが 2 年生の有志が中心となって、今春に立ち上がりました。生徒自身が区長と打ち合わせ、ポスターの作成、チラシのポスティング、デザート作成等の企画準備まですべて行いました。

全国的にも珍しいこの活動を、今後もセブ浜町社会福祉協議会でも応援していきたいと思います。

F は「ふるさと」「復興」「フューチャー(未来)」

向洋中 F プロジェクト始動!!

❀ 世代間交流事業 防災チャレンジ

「やってみよう！防災クッキング！」



平成28年8月10日（水）中央公民館2階第1・2研修を会場にして開催。

町内の小中学生14名と大人11名が、緊急時にも役立つ“防災クッキング”を行いました。一人分のカレーの材料を入れたポリ袋を、大鍋で湯煎する



こと30分。ポリ袋を開けてカレールーを混ぜ合わせれば出来上がり！

また、おやつでお馴染みの「じゃがりこ」がポテトサラダに早変わり！！みんなでおいしくいただきました。



午後からは大学生の考えたクイズやゲームで防災について楽しく学びました。「また来年も来たい！」という声も聞かれ、充実した内容となったようです。



今後の開催予定日

回	開催日	曜日	地区	共催	健康講話 板橋氏	調理 講師	会場
7	10/28	金	代ヶ崎浜		○	星様	避難所
8	11/18	金	笹山	味の素	○	味の素	避難所
9	12/16	金	花淵浜		○	土井様	避難所
10	1/20	金	松ヶ浜	味の素	○	味の素	避難所
11	2/17	金	吉田浜		○	土井様	公民分館
12	3/10	金	代ヶ崎浜	味の素	○	味の素	避難所

盛況です!!

「健康な食事をとおした絆づくり事業」

社会福祉協議会では毎月1回、地区の避難所を会場に、味の素による「料理教室」と、町の管理栄養士による「料理教室」を開催しております。

毎回笑いの絶えない楽しい教室となっておりますので、皆さんお誘いあわせのうえに参加下さい。

● 参加費…無料
● 対象者…災害公営住宅入居者及び近隣住民



●申込先：七ヶ浜町社会福祉協議会

電話：022-349-7781

担当：菊地・深堀



障害者相談 支援事業所



ふっとわ〜く



障害をお持ちの方のさまざまな相談に応じます

例えば…

- ・退院することになって、一人での生活が不安。サービスを利用して安心して暮らしたい。
- ・買い物や映画を観に行きたいけど、障害・病気の影響で一人では行けない。
- ・働きたいけど、障害があって思ったように働けない。
- ・障害者手帳、障害者年金について知りたい。
- ・こどもが支援学級在籍で、長期休暇中の過ごし方が心配。 などなど

どんな些細なことでも相談に応じます。

お金は一切掛かりませんので、お気軽にご連絡をお待ちしております。

※相談の内容によっては、福祉サービスを使うこととなります。その場合は「サービス等利用計画書」という書類を作成し、継続的に支援させていただきます。

七ヶ浜町社会福祉協議会「ふっとわ〜く」 TEL/022-349-7781 担当/渡邊・大浦・一岡

◇営業日：毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～17時15分 ◇休日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

◆生活福祉資金からのお知らせ

教育支援金について

◇ 教育支援費（授業料）

教育支援費 (月額上限)	高等学校 専修学校 (高等課程)	高等専門学校	短期大学 専修大学 (専修過程)	大学
	35,000 円	60,000 円	60,000 円	65,000 円
＊貸付月額は貸付期間中、同額での適用となります。 ＊実際の学費に応じた金額を、限度額の範囲で貸付します。 ＊未払いである就学期間のみを貸付の対象とします。				

◇ 就学支度費（入学金、教材費、制服代など）

就学支度費 (入学時のみ1回限り)	高等学校 専修学校 (高等課程)	高等専門学校	短期大学 専修大学 (専修過程)	大学
	500,000 円以内			
	*入学する学校の入学金を、限度額の範囲で貸付します。 *未払いである場合のみ貸付の対象とします。			

※申込受付から貸付までは最短で1ヶ月程時間を要しますので、お早めにご相談ください。
 ※入学試験前からの相談も可能です。(貸付申請は合格通知書の提出後となります)
 ※一定の貸付要件があります。

特例緊急小口資金を借入れ中の方へ

震災により被災された方々を対象に無利子で貸付いたしました特例緊急小口資金は償還期限を経過し、延滞利子が発生しております。お早目に償還されますようお願いいたします。ご不明な点等ございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

七ヶ浜町社会福祉協議会 / 生活福祉資金担当 電話 022-349-7781

赤い羽根募金運動が 全国一斉に始まります!

10月1日～
12月31日

ご協力をお願いします!

平成 28 年度 県内目標額

2億 7614万円

むすび丸
ピンバッジ



ピンバッジ 1個

... 500円

予約も承ります。

【赤い羽根募金の使われ方】



県内福祉施設
NPO
町内会
ボランティア
団体に配分さ
れます



県内各市
町村の地
域福祉事
業に配分
されます

宮城県共同募金会
に集められます

各市町村共同募金
委員会に集まった
お金の全額

送金

翌年度

※赤い羽根募金は大規模災害の復興支援や支援ボランティア活動にも使われます。

【平成 27 年度募金の使い道について】



1. 県域募金

	件数	金額(円)		件数	金額(円)
① 社会福祉施設整備事業 (床・施設・修繕・備品購入)	22	19,470,000	⑨ 児童養護施設自立支援事業	7	2,000,000
② 子育て支援事業	3	650,000	⑩ 緊急配分支援事業	1	5,000,000
③ 社会福祉団体支援	12	8,460,000	⑪ その他配分金	-	8,429,841
④ 安全生活支援事業	192	48,970,000	⑫ 災害準備金積立	-	11,000,000
⑤ 住民力・地域力・福祉 力を高める支援事業	1	15,000,000	⑬ 小規模災害支援	-	5,000,000
⑥ 被災地遊具整備事業	1	7,508,027	⑭ 奉仕活動推進費	-	21,502,692
⑦ 難病救済活動支援事業	1	350,000	⑮ 次年度運動経費	-	43,760,928
⑧ みやぎチャレンジプロジェクト	15	17,836,065	合 計	255	214,937,553



2. 市町村域募金

	件数	金額(円)
① 高齢者支援	91	22,057,336
② 児童・青少年活動支援	65	7,291,630
③ 障害児・者支援	61	10,253,991
④ 住民全般活動支援	192	49,177,921
⑤ 奉仕活動推進費	35	7,293,440
合 計	444	96,074,318

平成27年度七ヶ浜町の 赤い羽根 募金実績

募金総額 2,505,801円

(平成 26 年度 2,050,515 円)

< 内 訳 >	・戸別募金	1,904,750 円
	・学校募金	25,320 円
	・職場募金	38,630 円
	・あさひ園まつり等	4,312 円
	・自動販売機売上	522,789 円
	・前年度繰越	10,000 円

ありがとうございました!

平成 27 年度の募金は、宮城県内の町内会活動や団体の 28 年度事業費に配分されており、次の通り七ヶ浜町へ配分されております。

配分総額 2,010,622円

(平成 26 年度 1,159,025 円)

① 要害戸主会	170,000 円
② 吉田浜行政区	170,000 円
③ 地域福祉事業	1,092,106 円
④ 汐見台4丁目集まらん会	100,000 円
⑤ 七ヶ浜町レクリエーション協会	100,000 円
⑥ 和光幼稚園(下駄箱設置費)	250,000 円
⑦ 事務・活動費	128,516 円

子育てサポーター養成講座

「子育てサポーター」とは…?

地域で子育てしている人の身近な協力者として、子育てに関する悩みや不安を抱える親御さん達の相談相手になったり、子育て支援等についての情報を提供したりする人の事です。

子育て中の人、子育てがひと段落した人、子育て支援について興味がある人を対象に養成講座を開催します。是非ともご参加ください。



- 主催 セツ浜町社会福祉協議会 ● 共催 セツ浜町子育て支援センター
- 会場 セツ浜町子育て支援センター（電話 022-362-7731）
- 対象 セツ浜町住民または勤務している方。もしくは町外の方でも、子育て支援に関心のある方。
- 参加費 無 料 ● 定 員 30名
- 講座中の託児を希望される方は、お申込み時にご相談ください
- プログラム

日 程	時 間	科 目	テ ー マ	予 定 講 師
11月9日(水)	10:00~10:20	1	乳幼児健診からみえる子育てママのすがた	セツ浜町 健康増進課 保健指導係 保健師 黒川祐希氏
	10:20~11:20	2	今なぜ子育て支援が必要なのか	仙台市子育てふれあいプラザのびすく 仙台 館長 伊藤千佐子氏
	11:30~12:30	3	児童虐待の発見と予防	特定非営利活動法人チャイルドライン みやぎ 代表理事 小林純子氏
11月10日(木)	10:00~11:30	4	子どもの病気とけが	仙台青葉学院短期大学 看護学科 小児看護学領域 阿部頼子氏
	11:45~12:30	5	ボランティア活動の基本	特定非営利活動法人チャイルドライン みやぎ 代表理事 小林純子氏

- 申し込み セツ浜町社会福祉協議会
電話 022-349-7781 もしくは ファックス 349-7782
(住所・氏名・電話番号をお願いします)
- 締め切り 10月28日(月)

おもちゃドクター養成講座



おもちゃドクターとは…?

壊れたおもちゃの修理を通して、子供たちに「ものを大切にする気持ち」を伝えたり、おもちゃの仕組みを教えたりする「おもちゃのお医者さん」の事です。

- 主 催 セツ浜町社会福祉協議会
- 共 催 セツ浜町子育て支援センター

- 会 場 セツ浜町社会福祉協議会
- 対 象 セツ浜町住民または勤務している方。もしくは町外の方でも、おもちゃや子供が好きで、おもちゃ病院活動や物作り、修理に興味のある方。
- 参加費 無 料
- プログラム

	日 程	テ ー マ	講 師
講座 ①	11月20日(日) 10:00~12:00	おもちゃドクターの活動、おもちゃの修理の基礎学習、制作実習(電子オルゴール)など	おもちゃびょういん「ひまわり」に所属するおもちゃドクターさん
講座 ②	11月27日(日) 10:00~12:00		
講座 ③	12月4日(日) 10:00~12:00		

- 申し込み セツ浜町社会福祉協議会
電話 022-349-7781 もしくは ファックス 349-7782
(住所・氏名・電話番号をお願いします)
- 締め切り 11月14日(月)



第19回

ふれあい広場
あさひ園祭り

日時／10月16日(日) 開会セレモニー／9:40
開場／10:00 終了／13:00

場所／七ヶ浜町屋内運動場(町民プール隣)

連絡先／あさひ園(七ヶ浜町吉田浜字野山5-9 TEL／357-4796)

お楽しみ抽選会

抽選会／12:00頃～

★抽選券の配付
9:30～11:30

何が当たるか
お楽しみ!



販売

- 手作り品
- EMぼかし
- 野菜
- 梅干し



模擬店

- たい焼き
- 焼きそば
- 焼き鳥
- とん汁
- フランクフルト
- 磯辺焼き
- 玉コン
- ジュース
- コーヒー



みお七ヶ浜出店

ステージ(歌や踊りが盛りだくさん!)

さき織り無料体験

赤い羽根共同募金
ボールペンプレゼント



楽しい催しがいっぱい♪ぜひ、みなさん遊びに来てください!!

生活支援員を募集しています。

福祉サービス利用援助事業

まもりーぶ

在宅で生活する判断能力の不十分な認知症高齢者や知的・精神障害者のある方が地域で自立した生活を送れるようにお手伝いする有料のサービスです。

サービス内容は、福祉サービスについての相談や手続きの代行・生活に必要なお金を金融機関でお引き落としとしてお渡し、大切な書類等をお預かりするサービスがございます。

＜業務の内容＞

◎支援対象の方(利用者)と専門員が作成する支援計画、及び専門員からの支持のもと、定期的(1回2時間程度、週2回から隔週1回程度)の利用者の自宅等を訪問し、支援業務を行います。

- ・日常生活上で必要な金銭のお届け・公共料金や各種支払の手続き
- ・訪問した際の一般的な相談対応、専門員、社協担当者への報告
- ・県内約190名の方が活動しています。
- ・500円/30分の活動手当と距離に応じた交通費が支給されます。
- ・自家用自動車を用いた業務になります。

お問い合わせ

仙台地域福祉サポートセンター TEL 022-212-3388

七ヶ浜町社会福祉協議会 TEL 022-349-7781

